

区分	R1評価	項目	期限	R2年4～6月	R2年7～9月	R2年10～12月	R3年1～3月	今後取組み等
活性化① 新庁舎	C	1. 議会図書室機能の整備 ①新庁舎供用後の図書室運用に向け、電子図書の位置づけ、文書・図書の管理ルール等を規定した「(仮)議会図書室管理要領」を策定する。 ②電子図書室データの管理ルールを検討する。	R2年 10月	(策定指示→作業中)	(仮)議会図書室管理要領(案)作成	案協議 →10/13全協:決定	(新庁舎移転後) 要領(案)に基づく整理・展示作業	
活性化②	C	2. 町民意見の協議経過の明確化 ・意見交換等で出された意見等、議会内での協議経過から政策形に至る過程を「見える化」する手法を検討・試行する。	R3年 3月	町民アンケートの分析	→議会だよりの改善・研究 ・町民向け「活動展示」のようなものアリ?	→議会だよりの改善・研究	→議会だよりの改善・研究	
活性化③	C	3. 情報提供と説明の充実 ①「7. 外部評価手法の確立」と連動し、評価を通じて議会活動の情報公開と住民との共有を行う。 ②「6. 町民との意見交換会の改善」と連動し、多様な住民参加の促進を通じて議会活動の情報公開と住民との共有を行う。	R3年 3月	町民アンケートの分析	→議会だよりの改善・研究	→議会だよりの改善・研究	→議会だよりの改善・研究	
活性化④	B	4. ICTの継続的な活用 ・議会ホームページ強化に向けた検討を行う。 議会HPのあり方(サーバ?ホスティング?)検討～町の更新と連携・運動して	R3年 12月	・6/9ARTSystemに、機能強化等算定依頼 移行ページ選定	・7/6東洋打合せ・見積り依頼(8/中まで) ・R3実行計画化	R3予算要求	R3契約準備	
活性化⑤	B	5. 議会モニター制度の機能拡充 ①モニター公募方法の改善(無作為抽出など)を検討し、 試行 する。 ②モニター会議の開催手法(テーマ設定、ファンリテータの設置等)の改善を検討する。	R3年 3月	「無作為抽出」実施(アンケート同封) →2人応募 6/4議運・6/11:R2モニター制検討	7/16全協:モニター制決定	11/19第1回モニター会議	1/27第1回「オンライン」モニター会議	
活性化⑥	C	6. 町民との意見交換会の改善 ・真の情報共有を進め住民参加を促進することを目的として、これまで実施してきた住民参加手法の検証と新たな手法の検討を行う。 (※7. 外部評価手法の確立と連動し、住民評価の結果を参考として。)	R3年 3月	町民アンケートの分析	→アンケート分析結果からの改善検討?	(西小PTA、芽室高校生とのオンライン意見交換)	(PTAとの書面アンケート・Googleform) (議会モニターとのオンライン意見交換)	
活性化⑦	B	7. 外部評価手法の確立 ・住民から見える「議会活動の評価」手法を確立し、今年度の議会活動実績評価からの試行を目指す。	R4年 3月	評価(町民アンケート) 実施→集計 6/9山崎サポーターにメール依頼 →評価について快諾	・9/24議運:アンケートは適切な時期に実施 (来年度は行わない) ・9/17議運:外部評価概要案 ・9/24議運:今任期で改善策を出す方向で 評価を実施していく	R3予算要求	・評価検討の手順等打ち合わせ →3月中(北大)	
活性化 ツール		モニター会議		モニターアンケート 第3回会議→アンケート方式に変更	総括報告書作成 7/22全モニターに委嘱状・コメント依頼(7/31まで)	11/19第1回モニター会議	1/27第1回「オンライン」モニター会議	
活性化 ツール		町民との意見交換(PTA)		オンライン含め実施方法を協議	※指定傍聴議会(9月定例会議)			
活性化 ツール		高校生との意見交換		オンライン含め実施方法を協議	7/8:各校事務局に打診・了承 7/30・8/7議:PTA実施要領策定 8/5全:PTA実施要領協議	12/17:西小PTA(オンライン)	1/28芽小、2/2西中(リアル) 1/18～1/31南小・芽中(書面)	
会議運営 新庁舎①		電子採決(新庁舎)導入に向けた 会議条例 の改正の確認・検討	R2年 12月	現行事業者からのデモ 6/17 6/30議運正副で幕別調査	7/9議:調査概要報告 7/30議:規定化議論	10/6議・13全:会議条例等改正案 12/1本:提案・議決		
例規整備		委員会条例の一部改正(機構改革に伴う所管変更 ほか)	R2年 3月					・ 機構改革 (課設置条例改正等)を受けて 所管委員会の構成変更 ・ オンライン を活用した委員会開催
議会広報		議会だよりの改善の研究	R3年 3月	6/30MT:優秀事例調査・研究実施。年度内に 改善策を整理	→議会だよりの改善・研究	→議会だよりの改善・研究	→議会だよりの改善・研究	
BCP		議会BCPの見直し(感染症対策の追加)	R2年 12月		・町、他事例研究・整理 ・8/24議:見直しの方向性協議	10/27議・11/4議:見直し案協議 11/13全:見直し案協議 11/20議:決定		
会議運営 新庁舎②		新本会議場の視聴覚システムを活用した 議会運営 の検討 ※執行機関との連携必要?	R3年 1月			会議条例等改正案・作成・提案 議決 →運用後に再協議		
諮問会議		①会議欠席理由の拡張・オンライン会議開催の「その他」理(育児・介護・看護 ほか)の検討 ～議員なり手の拡張、 ②厚生年金制度への地方議会議員の加入 ～議員なり手の拡張(全国・道議長会からの要請) ①→R1.10.3議運での提案からMT経て 諮問事項 とする ②→R2.3.5議運での議論で 継続協議・諮問事項 としていくことと決定	R4 3月 R4 3月	諮問会議委員募集		第1回諮問会議 (諮問会議はR3年度に設置)		

A=おおむね達成した
 B=達成しているが改善余地あり
 C=達成していない
 D=取り組んでいない

資料5-2

②改善・新規活性化7事項

項目		内容	達成時期
■前年度からの継続事項	R1 結果		
1. 議会図書室機能の整備	C	①新庁舎供用後の図書室運用に向け、電子図書の位置づけ、文書・図書の管理ルール等を規定した「(仮)議会図書室管理要領」を策定する。 ②電子図書室データの管理ルールを検討する。	R2年10月
2. 町民意見の協議経過の明確化	C	・R2年度に実施する住民評価(アンケート)結果から、住民参加ツールの課題を抽出し、ツールごとの改善案を検討する。 ・検討した改善案の試行と次年度の住民参加ツールのあり方検討に繋げる。	R3年 3月
3. 情報提供と説明の充実	C	・住民アンケート結果をもとに、具体的な情報提供手法・手段の検討を行う。	R3年 3月
4. ICTの継続的な活用	B	・議員及び議会モニターアンケートによる現行HPの改善点を抽出・整理。 ・CMS移行ページ確定、費用の算定。 ・実行計画から予算措置。	R3年12月
5. 議会モニター制度の機能拡充	B	・R1年度のモニター会議結果及び無作為抽出による公募状況から、改善内容の振り返り(検証)を行う。 ・R1年度検証結果から、R2・R3年度モニター制度のあり方を再検討する。(イレギュラー対応含む)	R3年 3月
6. 町民との意見交換会の改善	C	・R2年度に実施する住民評価(アンケート)結果から、町民との意見交換の課題を抽出し、改善点を検討する。 ・これまでの意見交換以外の新たな手法の検討を行う。	R3年 3月
7. 外部評価手法の確立	B	・アンケート方式の住民評価の実施・集約・分析から議会活動へ反映 ・「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法を検討し、令和3年度での試行に繋げる。	R4年 3月

進捗工程表

達成時期：R3 年 12 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策 4. ICT の継続的な活用

【現状】

- ページ更新の一部を外部に作業委託
- 特定のアプリによる議会中継視聴
- 中継動画単独での視聴

【目指す姿(目標)】

- 情報の検索性・即時性が高く必要な情報が入手しやすいHP
- 審議内容が分かりやすいHP

【課題・政策】

- 完全CMS化により更新の即時性を向上する
- 議会中継・HP運用システムを更新し動画と議案を同時に視聴できるようにする

[取組内容]

- ・ 議会ホームページ強化に向けた検討を行う。
- ・ [R2] 議員及び議会モニターアンケートによる現行HPの改善点を抽出・整理。
- ・ [R2] CMS移行ページ確定、費用の算定。
- ・ [R2] 実行計画から予算措置。

[工程詳細]

項目	R 元年度		R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
現行のHPの課題整理	→								
HPの改善方向の整理	→								
改善点抽出・整理			→						
新HP移行ページ確定、費用算定・実行計画策定・予算措置			→	→					
移行準備・移行作業					→	移行			

進捗工程表

達成時期：R3年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策5. 議会モニター制度の機能拡充

【現状】

- モニター候補者の固定化
- モニター意見の議会内での議論経過が見えない

【目指す姿(目標)】

- 町民の議会に対する理解が広がる
- モニター自身がより課題意識を持って主体的・積極的に会議に参加する

【課題・政策】

- 潜在的な関心層を掘り起こす
- 会議に主体的に臨めるような手法の改善

【取組内容】

- ①モニター公募方法の改善（無作為抽出など）を検討し、試行する。
- ②モニター会議の開催手法（テーマ設定、ファシリテータの設置等）の改善を検討する。
 - ・[R2]R1年度のモニター会議結果及び無作為抽出による公募状況から、改善内容の振り返り（検証）を行う。
 - ・[R2]R1年度検証結果から、R2・R3年度モニター制度のあり方を再検討する。（イレギュラー対応含む）

【工程詳細】

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
無作為抽出を含むモニター選考のあり方を検討			→						
モニター会議のテーマ設定・会議手法の検討			→						
R1実施結果の検証（会議・無作為抽出）			→						
R2会議運営の改善検討			→	→					

進捗工程表

達成時期：R3年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策6. 町民との意見交換会の改善

【現状】

- 意見交換を通じて、町民の真の課題を引き出せていない。
- 意見交換グループ内の情報共有ができていない

【目指す姿(目標)】

- 町民意見の背景・理由を掘り起こす対話ができる。

【課題・政策】

- 会議のメンバー、テーマ等に適した会議形式を採用し実施する
- 会議進行手法の改善する

[取組内容]

- ・ 真の情報共有化を進め住民参加を促進することを目的として、これまで実施してきた住民参加手法の検証と新たな手法の検討を行う。
(※7. 外部評価手法の確立と連動し、住民評価の結果を参考として実施する。)
- ・ **[R2]** R2年度に実施する住民評価（アンケート）結果から、町民との意見交換の課題を抽出し、改善点を検討する。
- ・ **[R2]** これまでの意見交換以外の新たな手法の検討を行う。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
住民参加ツールの実施にあたっての課題検討		→							
住民参加ツールの課題改善手法の検討		→							
住民評価からの課題抽出			→						
既存意見交換の改善検討				→					
新たな手法の検討				→					

進捗工程表

達成時期：R4年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R2 活性化策7. 外部評価手法の確立

【現状】

○議会活動評価が議員自己評価にとどまってお
り適正かつ公正な評価となっているのか

【目指す姿(目標)】

●議会基本条例の基本理念に則った議会活動
を継続する

【課題・政策】

➤ 客観的（第三者）評価手法を確立する

[取組内容]

- ・住民から見える「議会活動の評価」手法を確立し、今年度の議会活動実績評価からの試行を目指す。
- ・[R2] アンケート方式の住民評価の実施・集約・分析から議会活動へ反映
- ・[R2] 「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法を検討し、令和3年度での試行に繋げる。
- ・[R3] 新たな評価手法の検証と必要に応じて仕組みの見直しを実施する。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
住民評価手法の検討			→						
評価（アンケート）実施・集計・分析			→						
議会基本条例に基づく議会活動の評価手法の検討			→						
新たな評価の試行・実施と仕組みの検証・見直し					→ 試行	→ 検証			